

目的

かかりつけ医への助言や地域の関係機関との連携促進の役割を期待されるサポート医に対し、都内の医療資源の状況を踏まえた連携の在り方や、周辺症状への影響を踏まえた身体疾患の管理等に関する医学的知識等を習得するための研修を実施し、サポート医の機能強化を図ることで、認知症医療と身体医療、専門医療と地域医療の切れ目を解消し、認知症の人に対する地域の医療支援体制の充実を図ることを目的とする。

本研修の特徴

- 認知症サポート医の「認知症医療」スキルの上昇
(薬物療法、非薬物療法等)
- 認知症への影響を踏まえた「身体医療」スキルの上昇
(日ごろからの身体疾患管理のポイント等)
- 連携体制の充実
(連携ツールの導入、グループワークの実施)

アウトカム表

達成目標	研修内容
1. 地域の「かかりつけ医」と「専門医」の顔の見える連携づくり	(1) 東京都の認知症の医療やケアの現状 東京都における認知症対策の施策や活動状況 東京における精神科救急医療体制の現状 東京都認知症専門医療機関の状況 (2) 地域の「専門医療機関」の診断・治療・周辺症状・合併症への対応力を踏まえた情報提供やアクセス (3) 地域の対応体制を踏まえた、急変時の情報提供やアクセスの支援 (4) 地域に見合った「かかりつけ医」と「専門医」の連携
2. 包括的認知症ケアの現況を踏まえて「かかりつけ医」を総合的に支援する	(1) 困難事例への対応も含めた「かかりつけ医」の認知症対応力の向上支援 「認知症の人の日常生活を尊重するケア」の理念 認知症の非薬物療法の概要と効果 認知症の中核症状とBPSDへの薬物療法 等 認知症診療のコツ 認知症短期集中リハビリテーションの概要 (2) 権利擁護や虐待への対応 地域の認知症の人の権利擁護体制 鑑定書等権利擁護手続きの依頼への対応 (3) 病名告知とその後の対応 認知症の人とその家族の心情に配慮した支援 治療法や地域の医療体制等 予後の見通しの適正な説明と、疾患の受容支援 告知後の生活支援 等
3. 地域の医療・介護・福祉職等への連携促進や認知症対応力の向上支援	(1) 地域の認知症早期スクリーニング、早期対応の取組支援 (2) 地域の医療・介護・福祉職等への認知症対応力向上のための啓発活動 (3) 地域自治体、地域包括支援センター、地域医師会・介護事業者等の連携促進
4. 地域住民や多様な職種の従事者に対する認知症の理解促進	(1) 地域住民の啓発、認知症サポーターの養成等 (2) 認知症の人のライフラインを支える事業者への啓発・支援 (住居・商工・金融・流通・交通・飲食・通信・エネルギー・水道等々の事業者)

第1回研修

- 開催日時 平成21年7月26日(日) 13時~18時
- 参加者 19名(行政関係者・マスコミ関係者等除く。)
- 研修内容 テキスト研修、連携ツールを用いたグループワーク 等

参加者からの主な意見

- サポート医の、地域資源へのアクセスの必要性に関する意識は高まってきているが、連携先の情報や具体的な方策が不明確であるため、連携が進まない事例もある。
- 治療の選択肢は増えてきていると感じる。今後は、独居や夫婦とも認知症であるなど、医療支援になかなか結びつかない人へのアプローチも課題。
- 認知症の早期発見を進めるには、病院勤務医へのアプローチも不可欠。